

コード	205030603
記入日:	H22.6.11

課コード	106
課名	総務課
課長名	堀江英生
担当者	宇戸佐一郎

## 事務事業事後評価表

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	防火水槽新設工事	事業種類	単年度事業
		事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 21 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け			
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	9		
施策コード	205	施策名称	安全を実現できる体制づくり	項コード	1		
基本事業コード	20503	基本事業名称	消防団組織と消防施設の充実	目コード	3		
事務事業コード	2050306	事務事業名称	単独事業(消防施設)	細目コード	1041		
関連計画		法令・条例規則等					

<b>計画(PLAN)</b> ※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。								
対象:誰、何を対象にしているのか				対象指標:対象の大きさを表す指標				
(対象1) 防火水槽		(対象2)		(対象指標1) 1基		(対象指標2)		
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入				活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
(全体)		(評価年度実績)		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****		防火水槽100t級 1基新設(青方地区)		*****	*****	*****	設置予定1箇所÷設置箇所1箇所	*****
				①	使用可能日数	7	100%	平成21年度
				(達成率分析)計画どおり1基設置した。				
				*****	*****	*****	*****	*****
				②	(達成率分析)			
目的:何をしたいのか				成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
				(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
				*****	*****	*****	正常に利用できた日数6日÷利用可能日数6日	*****
				①	正常に利用できた日	6	100%	平成21年度
				(達成率分析)設置したことにより、水利の確保ができた。				
				*****	*****	*****	*****	*****
				②	(達成率分析)			
火災発生時における水利の確保のため、防火水槽を設置した。								

<b>実施(DO)</b> ※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。							
	単位	全体計画 H 21 ~ H 21		平成20年度以前	平成21年度		
		計画	実績	実績	計画	実績	
活動指標	①	箇所	1	1	0	1	1
	②						
成果指標	①	日	6	6	0	6	6
	②						
総事業費C(A+B)		千円	16,250	15,176		16,250	15,176
直接事業費A		千円	14,850	13,776		14,850	13,776
人件費B		千円	1,400	1,400		1,400	1,400
内訳	従事職員数	人	0.2	0.2		0.2	0.2
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円					
	県補助金	千円					
	起債	千円					
	その他	千円					
一般財源		千円	16,250	15,176		16,250	15,176

**評価(CHECK)**

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由 火災発生時における、町民の生命・財産を守ることは、町の責務である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由 行政が行うべきもので、不変的なものである。
	事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい ● いいえ	理由 火災発生時における、重要な水利である。
有効性	事業の目的は達成されましたか。	● はい ● いいえ	理由 設置することにより、火災発生時の水利としての機能を発揮できる。
	成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 適正に設置されている。
	事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 水利が無ければ、火災発生時の消火活動に支障をきたす。
	類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 類似事業がない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 必要最小限の事業費のため削減できない。
	人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 最少の人員で行っており削減はできない。
	受益者負担は適正でしたか。	● はい ● いいえ	理由 受益者の負担は、発生しない。

**改善(ACTION)**

1次評価	○今後の関連事業に対する改善点  特になし。
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策  目的は達成された。
2次評価	火災発生時の水利の確保が図られた。今後は維持管理に努めることと計画的な施設整備により充足していくこと。

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。